

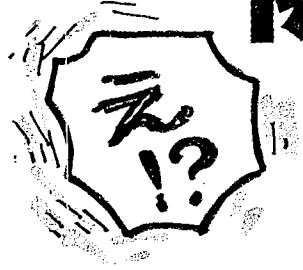


「隠蔽ではない」

杉1小移転先の

「浸水・火災危険」報告めぐり

区苦しい釈明



区立杉並第1小学校(杉並区阿佐谷北)の移転予定地(現・河北病院敷地)について、災害発生時に浸水や延焼の危険が高く避難所として「不適切」であるとの報告を専門業者がまとめ、区がこれを受け取りながら隠蔽した疑いがもたれている問題で、区企画課(施設再編整備担当)は1月20日、本誌の取材に応じ、「隠蔽したわけではない」と釈明した。しかし報告書の内容を公表しなかった理由について追及すると「今は答えられない」などと口を濁した。

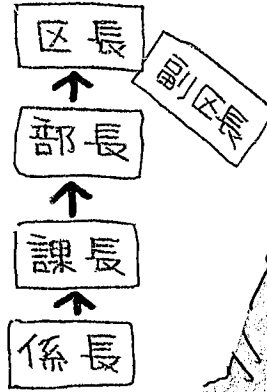


災害発生時に浸水や延焼の危険が高く避難所として「不適切」――杉1小学校の移転案が致命的な難点を抱えていることを、区は遅くとも2017年1月に、専門業者(佐藤総合計画)の調査報告書によって把握していた。区民や学童の生命にかかわる重要なこの事実をなぜ明らかにしなかったのか、本誌取材班は1月20日、企画課(施設再編整備担当)に取材し、疑問をぶつけた。対応した鈴木係長とのやりとりは以下のとおりである。

――報告書で「不適切」と指摘された事実を説明会や議会で言ったことはあるか。

鈴木係長「言っていない」

企画課
スズキ係長



どこまで知っている？
だれまで？

—なぜ言わなかった？

鈴木係長「今は答えられない」

—意図的に隠蔽したのではないか。

鈴木係長「いえ」

—箱口令が敷かれていた？

鈴木係長「箱口令は敷かれていない」

—説明会などにこの資料（佐藤報告書）を持っていったのか。

鈴木係長「持っていった」

—説明しなかったのは、たいしたことではないと軽視したということか。

鈴木係長「そうではない」

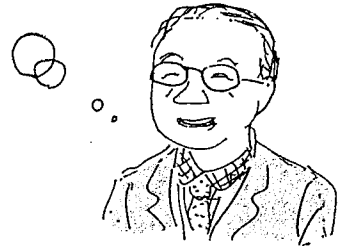
一方、本誌取材班は同日、区教育委員会（学校整備課）にも取材した。結果、同教委もまた、杉1小移転案には浸水・火災の危険があることを知りながら無視同然の態度を決め込む無責任きわまりない実態が明らかになった。

—震災避難所として不適切とは学校としても問題があるということではないか。対策を検討しているのか。

野田係長「計画がまだできていないので、検討はしていない」

—いまから検討しないと間に合わないではないか。

野田係長「そんなことはない」



区教委
ノダ係長


不都合な事実を隠す無責任な区や区教委に対して、さらなる批判の高まりは必至である。

区議会（定）2月12日から
よかったら傍聴してみてね♡

ツミくん
川柳

議会中眠っていたら
ダメなのよ（すぎ丸）

区議会で神話を
語る議員たち
（ごまめ）



創刊号を読んでください。 <読者より>

創刊号を区長室・教育委員会・政策経営部企画課・区議会事務局へ届けました。議会事務局では議長・副議長への分は預かったが、各委員長については保留となった。議会事務局前の廊下に各議員の書類受け box があるが“区民からの便り”など入れることを禁止しているし、事務局も預かってくれない。区議に手渡す場合は「郵送して」と事務局に言われた。

区議は区民に対し、政務活動費＝税金を使って「区政報告等」を送ってくるが、区民は郵送料を負担しなければ声を届けられないのでしょうか・・・さくら

「ニュースあさがや」は「スギナジジャーナル」のHPでもご覧いただけます。

ご意見、お問い合わせ、情報提供等は、「ニュースあさがや」編集部（スギナジジャーナル・三宅勝久 miyakekatuhisa@tutanota.com）まで。

2020.2.10
No.2